

2013年11月29日

株式会社プリンスホテル

新横浜プリンスホテルのビジネス・観光ニーズへの対応力を強化 「心地よさ -Fit your style- 」をコンセプトに客室 414 室をリニューアル

2013年12月16日（月）より順次オープン

株式会社プリンスホテル（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：小林 正則）は、運営する「新横浜プリンスホテル」（所在地：横浜市港北区新横浜3-4、総支配人：竹口 豊）に約3億円を投資し、2013年11月から2014年6月にかけて客室414室（総客室数904室）のリニューアルを実施いたします。

改装（414室）の半数以上を占めるシングルルーム（268室）には、セミダブルベッドと大きなデスクを導入したコンフォートシングルルームを新設し、多様化するビジネスニーズへの対応を強化します。

18階に設けるレディースフロアは女性向けに客室のレイアウトやインテリアを一新し、ゆとりあるベッドやソファを配置するなど、「くつろぎ」にこだわった空間に生まれ変わります。

高層階に位置する35階～37階をスカイビューフロアとし、客室は眺望を最大限活かしたレイアウトに変更し、地上150mの円形型高層ホテルならではの空間にいたします。

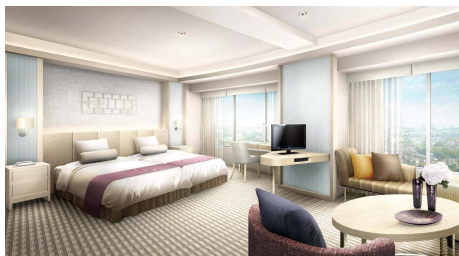
改装する414室にはシモンズ社製ポケットコイルマットレスを採用し、2014年春には全室（904室）にWi-Fiを導入するなど、快適性と機能性を高めてまいります。

東海道新幹線が全車両停車する新横浜は観光コンベンション都市・横浜の玄関口であり、ビジネス・レジャーの拠点として発展を続けておりますが、今後予定されている交通インフラの整備により都内からのアクセスがさらに向上し、街はその役割を拡大していくことが予想されます。

新横浜プリンスホテルは、従来の顧客層の中心であるビジネスへの対応を強化するとともに、観光都市横浜の拠点としてさらにその役割を拡大するため客室をリニューアルいたします。

リニューアルの主な特徴

1. 客室の機能性を向上し多様化するビジネスニーズに対応
2. 観光利用を促進するため一室複数名利用の受入を強化
3. 高層階の客室はスカイビューフロアとし、眺望を最大限に活かしたレイアウトに変更
4. 女性が安心してくつろげるレディースルームの新設
5. インバウンド取込み強化のためダブルルームを増室



スーパーアツインルーム



レディースシングルルーム



モデレートシングルルーム

※パースはすべてイメージです。実際の仕様と異なる場合がございます

◎ 本件に関する報道各位からのお問合せ先は

新横浜プリンスホテル 事業戦略

TEL : 045-471-1113 FAX : 045-471-1189

株式会社プリンスホテル マーケティング部

TEL : 03-5928-1154 FAX : 03-5928-1514

でかける人を、ほほえむ人へ。

西武グループ

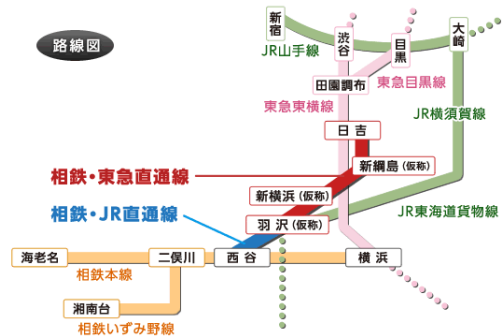
改装の背景

1. 新横浜エリアの発展

東海道新幹線の全車両が発着する新横浜駅は、2012年度の乗車人員が1日平均87,087人と年々増加しており、観光コンベンション都市・横浜の玄関口として発展を続けています（出典：第91回横浜市統計書）。さらに、新横浜エリアは今後の交通インフラの整備拡大により東京の周辺都市としてその役割をさらに拡大していくことが予想されます。2016年には自動車専用道路である「横浜環状北線」が開通し、羽田空港からのアクセスが現在の約40分から約30分に短縮され、横浜の玄関口としての機能がさらに強化されます。2019年には相鉄線から新横浜駅を経て東急東横線の日吉駅を結ぶ「相鉄・東急直通線」の開業が予定されており、これにより新横浜から渋谷・新宿方面へのアクセスが向上、交通の要所としての重要性を増してまいります。



「首都高速道路株式会社」公式サイトより



「相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線」公式サイトより

2. 観光需要の拡大とエリアにおける利用者ニーズの2分化

観光庁によると、「観光目的の宿泊者が50%以上」である施設の延べ宿泊者数が全国で大きく伸びており、観光需要は拡大傾向にあるといえます（出典：宿泊旅行統計調査／平成25年4月～6月）。横浜市においても、市は成長戦略として2010年より「観光・創造都市戦略」を掲げており、2012年度の横浜市の観光集客人員（宿泊）は410万人で前年より48万人（13.3%）増、震災前の2010年度と比較しても39万人（10.5%）増えました。横浜の玄関口として多くのビジネス層が利用する新横浜は、週末になると横浜観光や周辺の横浜アリーナ利用者などのレジャー客であふれる2つの顔をもったエリアであり、今後の交通インフラの整備によりさらに増えると予想されるビジネス層の需要に応えていくとともに、拡大する観光需要への対応を客室リニューアルにより、強化してまいります。

3. 訪日外国人の増加

政府は観光立国実現に向けた施策で2016年までに訪日外国人旅行者数を1,800万人に伸ばすことを目標に掲げており、横浜市も海外誘客数100万人を目標に施策を進めているなか、ASEAN諸国のビザ緩和施策をはじめ、富士山の世界文化遺産登録や2020年の東京五輪開催など、さまざまな追い風によりインバウンドのお客さまの需要増加が見込まれます。新横浜エリアは、東京－富士山－京都を結ぶ、主にアジアからの観光客に人気のゴールデンルートとよばれる観光コース上に位置するため、多くの訪日外国人の滞在が期待できます。



新横浜プリンスホテルからの眺望（一例）

リニューアル概要

1. コンセプト 「心地よさ -Fit your style- 」

ホテルとしての基本的な機能性を満たしつつ、ビジネス・ファミリー・カップル・レディースなど、さまざまなお客さまのニーズにあわせた「心地よさ」を付加価値に加え、県下最大級の客室数をもつホテルならではのメリットを活かし、それぞれの「いちばん」が見つかる客室を提供してまいります。

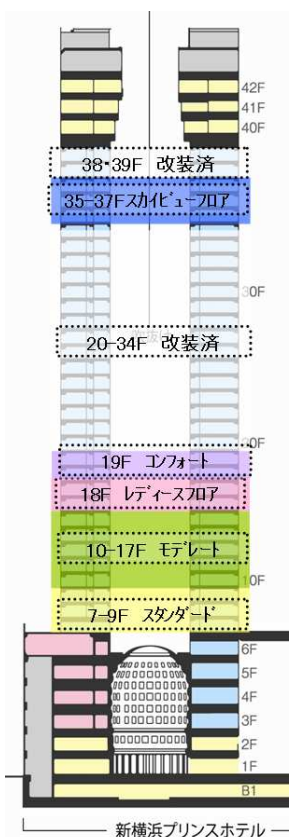
2. 改装内容

(1) 改装客室数 414 室 (総客室数 904 室)

改装フロア 7～19階 / 35～37階

※20階～34階および38階、39階の計462室は2007～2008年度に改装済

(2) 客室料金・概要



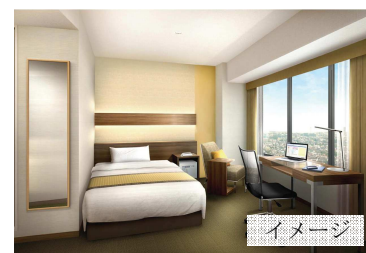
ルームタイプ		室数	面積 (㎡)	最大 利用人数	フロア	料金(円) (税・サ込)	旧ルーム名称 (旧室数)
ツイン (計 64 室)	スーパーリアツイン	6	40.8	4 名	35-37F	50,000	スーパーリアツイン(6)
	スカイビューツイン	6	21.4	3 名		29,000	ツインルーム(58)
	モデレートツイン	38	21.4	3 名	8-17F/19F	27,000	
	レディースツイン	4	21.4	3 名	18F	27,000	
	モデレートツイン	8	19.4	2 名	7-10F	24,000	
レディースツイン	2	19.4	2 名	18F	24,000		
ダブル (計 82 室)	スカイビューダブル	68	16.9	2 名	35-37F	27,000	ダブルルーム(68)
	モデレートダブル	14	19.4	2 名	11-17F/19F	24,000	ツインルーム(14)
シングル (計 268 室)	コンフォートシングル*1	23	16.9	2 名	19F	20,000	シングルルーム (268)
	レディースシングル*1	23	16.9	1 名	18F	20,000	
	モデレートシングル	161	16.9	2 名	10-17F	19,000	
	スタンダードシングル	61	16.9	2 名	7-9F	18,500	
合計		414					

*1 ベッドサイズはセミダブル (1,400 mm × 2,030 mm)

3. 改装の特徴

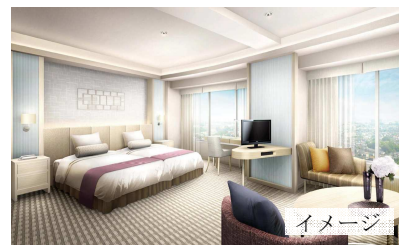
(1) 客室の機能性を向上し多様化するビジネスニーズに対応

- 「セミダブルベッド」と「パソコンでの作業が充分可能なデスク」を設置しビジネスでの利便性を向上させたシングルルームを新設 (コンフォートシングルルーム)
 - シモンズ社製ポケットコイルマットレスを導入し睡眠の質を向上
 - 全室 (904 室) Wi-Fi 完備 (2014 年春導入予定)
 - オープンクローゼットに変更し居住スペースを可能なかぎり確保
- ※スタンダードシングルをのぞく



コンフォートシングルルーム

- (2) 観光利用を促進するため一室複数名利用の受入を強化
- ・ スーペリアツインルームの最大利用人数を3名から4名に変更しご家族・グループでの利用に対応
 - ・ シングルルーム（222室）にシモンズ社のソファベッドを導入し2名受入の強化を強化
 - ・ セミダブルベッドを採用したコンフォートシングルルーム（23室）を新設し、ダブルルームとしての販売にも対応



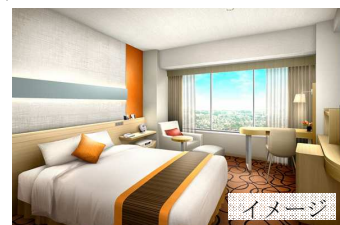
イメージ
スーペリアツインルーム

- (3) 35～37階の高層階はスカイビューフロアとし、眺望を最大限に活かした客室レイアウトに変更
- ・ 景色をゆっくりと楽しむためにソファを窓際に配置
 - ・ 夜景など高層階からの眺望を望める窓側を向いたデスク
 - ・ 2面に広がる大きな窓が特徴的なスーペリアツインルームは居住スペースをゆったりと確保し、収納されたベッドを引き出すことで最大4名さままで利用可能



イメージ
スカイビューダブルルーム

- (4) レディースフロアを「女性のくつろぎ」をテーマにリニューアル
- ・ 曲線的なデザインの家具と暖色系のファブリックであたたかみのある空間を演出
 - ・ 開放感を感じられる窓側を向いたデスク
 - ・ 足をゆっくりと投げ出せるオットマン付きソファ（シングルのみ）
 - ・ 大きなミラーや化粧水・乳液など女性のための充実したアメニティ
 - ・ 加湿機能付き空気清浄機



イメージ
レディースシングルルーム

- (5) 海外のお客さまからリクエストが多かったWi-Fiを導入し、需要の高いダブルルームを増室してインバウンドの取込みを強化
- ・ ダブルルームを131室（改装前）→191室（改装後）に増室 ※セミダブルを含む
 - ・ 全室（904室）Wi-Fi完備（2014年春導入予定）

新横浜プリンスホテル 施設概要

- 名称 新横浜プリンスホテル
- 代表者 総支配人 竹口 豊
- 所在地 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4
- 開業 1992年3月20日
- 構造 鉄筋コンクリート構造 地上42階、地下1階
- 客室数 904室
- 直営レストラン・バー トップ オブ ヨコハマ 鉄板焼&ダイニング
トップ オブ ヨコハマ バーラウンジ&バンケット
日本料理 羽衣、buffetレストラン ケッヘル
- 宴会場数 19
- 設計・施工 清水建設株式会社（開業時）
- アクセス 電車：東海道新幹線・JR横浜線・横浜市営地下鉄ブルーライン「新横浜」駅から徒歩2分
お車：東名高速道路横浜青葉I.C.から約12km／第三京浜道路港北I.C.から3km（平常時5分）



◎ お客さまからのお問合せ・ご予約は下記にて承ります

新横浜プリンスホテル 宿泊予約

TEL : 045-471-1111（代表） <http://www.princehotels.co.jp/shinyokohama/>